



今思えばあの時も、体調が優れなかったにも関わらず、私を気遣ってくださり、優しい言葉をかけてくださいました。沖縄の事を考え、沖縄の為に尽くしてこられた翁長知事のご遺志がこの先も受け継がれ、これからも多くの人に愛される沖縄であることを願っております。心から、ご冥福をお祈り致します。

安室 奈美恵 (翁長知事の死去の訃報を受け、県出身の歌手、安室奈美恵さんは8月9日、公式ホームページでコメントを発表した。琉球新報より)

九条の会が アピール 9条改憲NO!の巨大な世論の輪を



「九条の会」は9月14日に、呼びかけ人の澤地久枝さん、世話人の浅倉むつ子さん、池田香代子さん、伊藤千尋さん、伊藤真さん、清水雅彦さん、山内敏弘さん、事務局長の小森陽一さんが会見しアピールを発表しました。アピールは、戦力の不保

持と交戦権の否認をうたった憲法9条2項を維持したまま自衛隊を明記する安倍晋三首相の改憲案について「現在の9条を根本から破壊して、日本をアメリカと一緒に海外で『戦争する国』に変えてしまう」と指摘。3000万人署名が1350万(5月3日)に達し、その後も3000万を目指して広がっていること、広範な改憲反対の世論を前に通常国会の憲法審査会では議論することすらできなかったとし、臨時国会での改憲案提示という安倍首相表明は「こうした世論に対するあからさまな挑戦」だと批判しています。そして、臨時国会を改憲論議の場にさせず、次期通常国会で改憲発議を許さず、来年の参院選で改憲派の3分の2の議席獲得を阻止し安倍内閣を退陣に追い込むことを呼びかけ、「そのために、3000万署名運動の達成を目指して新たな決意で取り組みま

3000万署名
8月末の署名数
5,716 筆

しょう」と訴えています。私たちは手を緩めず、もうひと押しふた押しの努力が必要です。あきる野の署名目標15,000筆をみんなで達成しましょう。



伊藤千尋さんの話し

14日の記者会見で衝撃だったのは澤地さんの発言です。「焼身自殺を考えた」と言うのです。衆議院議員会館に入る際にバックから下げている「アベ政治を許さない」というタグを外すよう言われたのです。言論統制がここまで進んだことに対する怒りと、そこまで日本の民主主義を破壊させてしまった悔しさから、状況を変えるために焼身自殺も敢えて視野に入れたと言うのです。88歳の澤地さんをそこまで追い詰めた安倍政権と、それを支えている体制派の人々に怒りを感じます。僕もこの言葉を重く受け止めますが、僕自身

はまだまだ楽観的です。というよりも、あきらめたときが終わりだと思っています。旧ソ連の強権体制の中で、バルト三国の人びとは200万人が手をつないで600キロの三国の首都を結び、ソ連からの独立を求め(人間の鎖)、2年後に自立を勝ち取りました。

3000万署名はすでに1350万筆集まっていますが、1500万筆になったときには、日本列島を北の宗谷岬から沖縄の南端の波照間島まで、「人間の鎖」でつなぐことが可能です。1350万という数字は目標の3000万と比べると少ないように見えますが、実は驚嘆すべき数なのです。(同氏のfacebookより要約。新刊に『9条を活かす日本〜15%が社会を変える』新日本出版社)



あきる野市の空を 平穏な空に！

CV22 オスプレイ 10/1 正式配備

特集

4/3 にオスプレイ配備の発表があり、4/5 に5機が横田に飛来しました。その後韓国に飛び立ち5/29に戻ってきました。6/4に横田を離陸、沖縄に行く途中、1機がエンジン故障で奄美空港に緊急着陸。そして4機が6/23に横田に戻ってきました。それからあきる野市の上空をオスプレイが頻りに訓練飛行するようになりました。これらの情報は事後になって分かったことで、防衛省は訓練でも事前の情報は出さないのです。事故率が高く世界でもっとも危険な航空機、米空軍の特殊作戦用のオスプレイが来て、横田基地は特殊作戦の恐ろしい基地になったのです。10/1が本格配備ということですので、大変危惧されます。C130J輸送機も酷いです。

あきる野市が再び強く国に要請

あきる野市は、8月22日の正式配備の報に対してその日に「市民の不安が払しょくされないままに配備がなされない」よう再度強く国に要請しました。また市は「飛行経路から大きく外れた区域での飛行の目的は、なぜ事前通告なしにあきる野市の上空を飛行したのか」と防衛省に照会（質問）を求めています。何の答えもありません。

市の回答説明会に50人が参加



9条の会、新日本婦人の会、市民連合などの5氏が「オスプレイ・訓練飛行に関する質問書」を提出、7月13日に市の回答説明会が行われ約50人が詰めかけました。質問と市の回答は省略しますが、参加者からは「市が騒音や不安を電話で24時間受け付けていることを広報などで市民に知らせしてほしい」「飛行高度は地上約300m以上というがそれより低く飛んでいる。飛行ルートは決まっていないというが酷すぎる」「オスプレイの事故はパイロットの飛行技術で操縦が難しいといわれているが、その訓練のために飛んでいるのであれば大変なことだ」「市は測定器などを設置して市が自ら監視をして安全を守る必要がある」「この所、夕方になるとオスプレイが飛び回っていてとても不安です」「横田周辺が沖縄のようになってしまっている」「本格配備となるともっと大変なことになる」「米軍も防衛省も市の要請にこれまで答えていない。普天間第二小学校も上空を飛ぶなどいえないでいる」「市の上空は訓練場と認めないでほし

い」「市民の安心安全のために積極的な施策をとってほしい」などの意見や要望が出されました。市は「国は市の要請や照会にこれまで何も答えていない」「皆さんと思いは一緒の部分もある」「4月3日の市長の防衛省などへの要請の立場ですすめていく」などと述べました。こうした説明会を定期的に開いてほしいと重ねて意見が出されました。



五日市憲法草案発見50年 千葉卓三郎の足跡を訪ねる

五憲の会（五日市憲法草案の会）の◆7/3,4 東北バスツアーは、卓三郎の生家跡や記念碑、墓のある資福寺、戊辰戦争跡などを37名がめぐりました。◆8/26 都内ツアーは、マイクロバスを仕立てて洗礼を受けたニコライ堂や師と仰いだ安井息軒の墓などを20人が訪ねました。◆9/15 五日市ツアーは土蔵内部を見られるとして、雨の中を33名が参加しました◆9/21～24 東大和ツアーは市の企画展と合わせて卓三郎が最後に逗留した鎌田家やその墓所、卓三郎が演説した円乗院などをめぐりました。写真は上から栗原市の記念碑、仙台資福寺の記念碑、五日市の記念碑



□おしらせ□

横田基地もいらない市民交流集会にご参加を

- 10月6日(土)福生市民会館大ホール 入場無料
午前の部 10:00～
◆紙芝居「わたしが子どものとき日本は戦争をしていた」
◆ドキュメンタリー映画「OKINAWA1965」95分
- 午後の部 13:00～
◆鼎談「日本全土に充満する危険と暴力に私たちはどう立ち向かうのか」孫崎亨(元外務省国際情報局長)、窪田一忠(撤去の会事務局長)、小柴康男(オスプレイ情報アナリスト)の3氏が語る。
◆デモ行進

□事務局だより□

- あきる野9条の会会員賛同署名 累計は1,108名。
- 「2019 いぬねこ憲法9条カレンダー」1200円。事務局へお申し込みください。
- インターネットでも発信中 **あきる野9条の会** **検索** でホームページ、ブログ「事務局だより」、フェイスブックなどをご覧ください。